

令和6年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	さかもと かずひこ	
氏名	坂本 和彦	
所属・役職	アイアグリ株式会社 経営企画室長代行 兼 スマート農業チーム長	
活動拠点	<p>勤務先：茨城県土浦市北神立町 2-12</p> <p>主な活動範囲：直営店所在の地域（茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、長野）</p>	
略歴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2008年 NTT データ入社 TZ、K庁、S省の営業職に従事 植物工場における大豆生産PJチームで活動 ・ 2016年 NTT ドコモ 農業プロジェクトチームに転籍 企画、運営、全国支社支店の支援を実施 特に中央省庁のスマート農業実証事業をプロデュース・マネジメント ※内閣府、農水省、総務省、経産省、文科省、 自治体に係るスマ農の実証/研究開発事業に関与 2020年 茨城県農業大学 営農塾（短期）修了 2020年～2021年 岩崎農園にて休日に農業修行 ・ 2022年 アイアグリ 経営企画室 兼 直営店舗統括部 スマート農業チーム 所属 農業界における社内外のDX推進、 スマート農業関連の企画・推進 	
地域情報化の 専門分野・技術	<p>IoT、ICTを軸としたスマート農業技術全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 営農管理アプリケーション ・ 自走操舵システム ・ 農作業用ドローン ・ 環境センシングデバイス <p>その他、各種スマート農業実証事業のプロデュース</p>	
専門分野	農林水産業	
自治体向けメッセージ	<p>国策としてスマート農業技術を推進する中で普及の阻害要因は関係者間のコミュニケーションロス・認識相違（現場感の欠如、技術・知識の欠如）であると理解しています。これまでの経験・実績を活かし、スマート農業の実装に関わる生産者・行政・技術提供者間の連携を</p>	

		円滑化するための現状把握→課題整理→施策検討→施策遂行・現場実装を支援します。よろしくをお願いします。
関連サイト		<p>① スマート農業教育推進委託事業 https://www.maff.go.jp/j/keiei/nougyou_jinzaiikusei_kakuho/smart_kyoiku.html</p> <p>② 農学分野データサイエンス教育プログラム https://www.agr.ibaraki.ac.jp/educationprogram/</p> <p>③ 地域 IoT 実装事業 水田センサを活用した塩害被害の把握システムの開発 https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/top/local_support/ict/jirei/2017_026.html</p> <p>④ 農業農村における情報通信環境整備のガイドライン Ver. 1.01 →③の取組が「2-1. 情報通信環境整備に向けた方針・構想の検討の取組事例<事例 1>」に採用 (P12)</p>
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	<p>【NTT ドコモ在籍時】</p> <p>2016 年 農水省 全国 43 道府県 水田センサ×技術普及組織による農業 ICT 導入実証プロジェクト</p> <p>2017 年 総務省 佐賀市 地域 IoT 実装事業 水田センサを活用した塩害被害の把握システムの開発</p> <p>2018 年 総務省 島原市 地域 IoT 実装事業 ICT 技術で拓く島原漁協陸上ジオアワビ養殖業の未来</p> <p>2019 年 内閣府 川上村 スマートアグリ実証事業</p> <p>2020 年 農水省 経営局・就農女性課 スマート農業教育推進委託事業</p> <p>2020 年 農水省 佐渡市 スマート農業技術の開発・実証プロジェクト</p> <p>2020 年 農水省 竹田市 スマート農業技術の開発・実証プロジェクト (緊急対策)</p> <p>2022 年 農水省 佐渡市 スマート農業技術の開発・実証プロジェクト</p> <p>【アイアグリ在籍時】</p> <p>2022 年 文科省 茨城大学 (農学部) 農学分野データサイエンス教育プログラム</p> <p>2022 年 水戸市 鯉淵学園 いばらき県央スマート農業協議会に係る実演会企画 ・ 2/24 水戸市</p> <p>2023 年 水戸市 鯉淵学園 いばらき県央スマート農業協議会に係る実演会企画 ・ 2/7 那珂市 ・ 2/9 城里町 ・ 2/14 茨城町・小美玉市・大洗町</p>
	これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト	